

|2014-2024|

九州地域NGO活動助成金 これまでのあゆみ

九州から世界へ、これからも広がる支援の輪



目次

- 01 九州地域NGO活動助成金について
.....
- 02 主催団体よりご挨拶
.....
- 03 これまでの助成金のあゆみ
採択団体・事業の紹介
.....
- 04 これまでの採択団体の声
.....
- 05 データでふりかえる助成金
.....

九州地域NGO活動助成金について

◇ 助成金について

この助成金は、九州に拠点を置き国際協力活動を行っているNGO団体に対し、事業や組織運営・活動能力の向上を支援することを目的に、宗教法人真如苑と特定非営利活動法人NGO福岡ネットワークの共同事業として設立されたものです。

本助成金は、単なる経費の支援ではなく、助成事業の企画から申請、選考会でのプレゼンテーション、事業の実施、振り返りに至るまでの過程を通じた助成団体の事業実施能力、運営基盤能力の強化をねらいとして実施してきました。

◇ 対象となる団体・取組

九州に拠点を置き国際協力・国際交流・多文化共生支援活動を行っている非営利活動団体

主催団体について

Shinmyo

宗教法人 真如苑

仏教の精神を現代に生かし、人びとの「心の救済」と「社会の調和・共生」を目指して活動している宗教法人です。社会貢献活動の一環として、地域支援や災害支援、国際協力への取組を全国各地で実施されております。

本助成金では制度立ち上げ当初より共同主催者として参画し、資金支援と審査や制度改善などにも継続的に関わっています。九州地域に根ざした活動を支える仕組みづくりを通して、持続可能な社会の実現に貢献しています。

F/NN

NGO福岡ネットワーク

九州を拠点とする国際協力NGOのネットワーク組織で、1993年に設立しました。地域の国際協力団体のネットワーク化や情報共有、人材育成、政策提言などに取り組み、国際協力や多文化共生を市民にとってより身近なものにすることを目指しています。

本助成金では、制度設計から広報、相談対応、審査運営、事後の報告支援まで、事務局として事業全体を運営しています。

藤本 直宏 真如苑 社会交流課



この度は、多くの関係の方々のご理解とご協力をいただき、NGO福岡ネットワーク（FUNN）さまとともに、九州地域NGO活動助成金事業の10周年の節目を迎えることができましたこと、協働団体として心より感謝申し上げます。

本助成金事業は2014年から始まりますが、設立のきっかけとなったのは、2006年真如苑の開祖生誕100年を祝う記念事業として始めた、東京都多摩地域の市民団体を応援する助成金の創設でした。一般公募するかたちで助成先を選定させていただきご支援は、私たちにとって初めての試みでしたが、これによりこれまでの何倍も多く市民団体のお話を聞かせていただく機会が増えました。

様々な団体から課題を聞かせていただく中に、NPO・NGOの活動をサポートする中間支援組織という団体が存在し、しかし、現場活動を持たないがゆえに、活動の理解を得ることが難しく、寄付が集まりづらい現状があることを教えていただきました。

自分たちの団体が評価されなくても、NPO活動の普及のために陰ながらご尽力される姿勢に、私たちが大切にしている価値観「利他の精神」との重なりを感じました。何らかの形で応援させていただけることはないかと考え、東京都以外の各地域で活動される中間支援組織さんと協働した助成金事業を発案しFUNNさんへ飛び込みでご相談に伺いました。現理事の二ノ坂保喜さん、原田君子さんが私どもの趣旨を快く受け止めてくださり、2014年助成金を創設することができました。

真如苑はご支援にあたり、できるだけ団体の担当者の方と直接お会いし、活動内容を聞かせていただくことを心がけておりますが、九州地域NGO活動助成金では、国際都市福岡と呼ばれるように、国内、東南アジアや中東、アフリカなど幅広いフィールドで活動する国際色豊かな団体からのご応募をいただき、私たちが通常活動する中では出会うことができない団体との出会いをいただいております。特に審査会で聞かせていただく、各団体の方が裨益者のことを思って活動されるお話からは、他の幸せを願う純粋な真心を感じ、真如苑として社会の中で果たす役割を考えさせていただき貴重な機会となっております。ありがとうございます。現在、世界各地で起こる紛争や対立、気候変動、貧困問題など、様々な課題があります。それらの課題を、一気に解決することは難しいかもしれませんが、地域で各団体に取り組む草の根レベルの活動の積み重ねが課題解決の道であり、その中で相手を理解し、お互いに大事なものを尊重し合う社会を作っていくことができるのではないかと思います。これからもこの事業を通し、一人でも多くの方が、希望のある未来につながっていただけますように、みなさまと一緒に取り組んでいきたいと思っております。ささやかなご支援になりますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。

二ノ坂 保喜

NGO福岡ネットワーク 代表理事



NGO福岡ネットワーク（FUNN）が真如苑と協働で実施している「九州地域NGO活動助成金」事業が、10周年を迎えました。まずは、真如苑のご支援に心から感謝申し上げます。

この事業は、真如苑の市民活動への助成事業の一環としてFUNNとの共同事業として始まったものです。本助成事業の特徴として、企画から申請・プレゼンテーション・事業実施・報告・振り返りに至る過程を通じた団体の事業実施や運営基盤能力の向上を目的の一つとしていることがあげられます。小規模なNGOが多い九州では、組織基盤が弱く、活動経験も不十分な団体が多くあります。そのため、応募を受け付け、その後の事業企画の相談や、各種手続きの相談などにも積極的に対応しています。そして、審査会では、市民活動に詳しい方やNPOの財政に詳しい方などに審査員として参加いただき、丁寧に審査を行います。また事業終了後には報告会を行い、各団体が成果を発表し、共有することを通じて、今後の事業の発展につながることを期待するものです。

また、本助成事業の申請資格は、FUNNの加盟団体のみならず、国際協力や国際理解、それに多文化共生の活動に関わる九州地域の団体を幅広く対象としています。

2014年に始まった本事業は、この11年で延べ67団体が助成を受けています。2024年度の助成事業実施団体は、6団体で以下の通りです。

- ・フィリピンの貧困村でのインフラ整備事業を行う「フレンズ国際ワークキャンプ九州」
- ・多文化共生のためのイスラム教徒理解向上プログラムの「バングラデシュと手をつなぐ会」
- ・ラオス農村部における子ども栄養改善に関する現状と課題をテーマとする「ISAPH」
- ・「オイスカ西日本研修センター」の人材育成事業
- ・「セミナー企画室コスモポリタンズ」のコスモポリタンズセミナー
- ・「子どもに能楽を勧める会」の子どもと留学生の能楽発表会と留学生との交流会

現在、世界各地で起こる紛争や対立、気候変動、貧困問題など、様々な課題があります。それらの課題を、一気に解決することは難しいかもしれませんが、地域での各団体が取り組む草の根レベルの活動の積み重ねが課題解決の道であり、その中で相手を理解し、お互いに大事なものを尊重し合う社会を作っていくことができるのではないかと思います。これからもこの事業を通し、一人でも多くの方が、希望のある未来につながっていただけますように、みなさんと一緒に取り組んでいきたいと思っております。

さやかなご支援になります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

これまでのあゆみ

真如苑が多摩で始めていた市民団体の助成を九州でも！とFUNNへの相談がきっかけではじまった九州地域NGO活動助成金。2024年度までのあゆみを振り返ります



11年間 でこんな事業が実施されました

助成事業一覧

2014

- ・ アジア開発銀行福岡NGOフォーラム
「情報発信強化」
- ・ NPO法人エスペランサ
「第12回アフリカの希望チャリティーコンサート」
- ・ フレンズ国際ワークキャンプ九州
「フィリピンの貧困村でのインフラ整備」
- ・ NPO法人ソルト・パタヤス
「フェアトレード商品の品質向上と販売支援」
- ・ NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク
「組織運営の安定をはかるための整備」
- ・ 認定NPO法人地球市民の会
「地域の国際化促進と組織基盤強化」
- ・ NPO法人バングラディッシュと手をつなぐ会
「看護学校建設プロジェクト広報パンフレット」

※右記の金額は概算の額です

こんな事業がありました

学生中心のワークキャンプで 農村の整備をすすめています

実施地：フィリピンレイテ州
総経費：167万円 当助成金：20万円
内容：福岡の大学生が自ら企画し、14日間現地に滞在して村人達と一緒に水道設備の改善をしました。パイプを取り換え、新しいタンクと公共蛇口を設置することができました。



公共施設の蛇口設置



▶村でのワーク

2015

- **NPO法人エスペランサ**
「第13回アフリカの希望チャリティーコンサートと現地スタッフ招へい」
- **NPO法人九州海外協力協会**
「はじめよう、今日から私もエコ生活！」
- **NPO法人ソルト・パタヤス**
「組織基盤強化のための機材投資」
- **NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク**
「共感者を増やすための理事・事務局エンパワーメント研修」
- **NPO法人トゥマンハティふくおか**
「13年間の活動をまとめた記念誌の作成」
- **フレンズ国際ワークキャンプ九州**
「フィリピンの貧困村でのインフラ整備」



組織のステップアップにつながる研修ができました

実施地：福岡市

総経費：15万5千円 当助成金：10万円

内容：外部専門家を招き、「目標と成果指標の設定に関する研修」を2回実施しました。このことで、目標と指標の重要性の認識が広まり、組織としてのステップアップするための基盤ができました。



研修の様子

2016

- **NPO法人ISAPH**
「ラオス国母子保健プロジェクトに関する活動基盤整備」
- **NPO法人九州海外協力協会**
「カンボジア農村の手仕事支援」
- **NPO法人聖母**
「マラウイ国ムジンバ県カプタ教育圏内小学校給食提供計画への調理器具支援」
- **フレンズ国際ワークキャンプ九州**
「フィリピンの貧困村でのインフラ整備」
- **(一社)モザンビークのいのちをつなぐ会**
「～日本とモザンビークの相互理解のための国際協力啓蒙活動～マコンデ族ナジャ音楽公演&アフリカトーク」



カンボジアの農村女性の支援を進めています

実施地：カンボジア シュムリアップ州

総経費：44万円 当助成金：20万円

内容：前年より開始した手仕事支援事業で、支援者によるサンプル評価をしました。その結果を現地農村で伝え、かごの試作品を作成し、販路調査をしました。この取り組みは現地の人との信頼関係づくりにもつながりました。



試作のかごを編む村の女性

2017

- ・ **フレンズ国際ワークキャンプ九州**
「ネパールの農村における震災復興支援」
- ・ **NPO法人ソルト・パヤタス**
「関西の学生支部向け、規模拡大のための啓発」
- ・ **アジア開発銀行福岡NGOフォーラム (FNA)**
「身近な国際化と多文化共生のための料理教室～あじ（味）でつながるアジア」
- ・ **NPO法人ダンカダンカ**
「小規模採卵養鶏場プロジェクト形成調査」



料理を通じた国際理解の機会を作ることができました

実施地：福岡市

総経費：11万円 当助成金：10万円

内容：カンボジアとインドネシア料理の教室、茶道と各国のお菓子の試食、多文化理解のゲームやそれぞれの国の料理の話などを伺いました。文化背景を知ったり、自身の思い込みに気づく機会にもなりました。



セネガル現地調査の様子
(NPO法人ダンカダンカ)



アジア料理教室



2018

- ・ **認定NPO法人地球市民の会**
「農家の収入向上のためのフェアトレード商品開発に向けた事前調査」
- ・ **NPO法人ソルト・パヤタス**
「カシグラハンの母親たち向けライフスキルワークショップ」
- ・ **フレンズ国際ワークキャンプ九州**
「フィリピンの貧困村でのインフラ整備」
- ・ **NPO法人くまもと未来ネット**
「グローバルなフェアトレード商品開発に向けた事前調査」



フィリピンのお母さんたちが子ども達のために貯金を始めました

実施地：フィリピン リサール州

総経費：29万円 当助成金：20万円

内容：お母さん達のためのワークショップ。食の安全（砂糖の影響）、教育の大切さとそのための貯金、ライフスキルと子どもの脳の発達について学びました。フォローアップ訪問では、糖分の取りすぎに気をつけるようになったり、教育のために貯金を始めた人もいました。



ミャンマーでフェアトレードの講義
(NPO法人くまもと未来ネット)



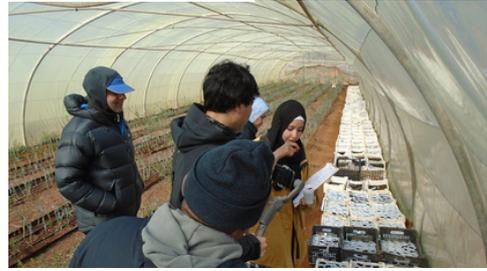
ライフスキル研修の様子



研修で作った貯金箱

2019

- (一社) ミドリゼーションプロジェクト
「宮脇方式で森林再生 東アンマンの乾燥地調査」
- (一社) モザンビークのいのちをつなぐ会
「モザンビーク共和国農作物備蓄倉庫用地の外壁敷設」
- **NPO法人エスペランサ**
「ギニアビザウ共和国におけるソナック中等学校 図書室とパソコン教室整備」
- **NPO法人ISAPH**
「ラオス国保健医療サービス体制強化 (カウンターパート研修)」
- **芭蕉繊維研究会**
「ミャンマーにおける糸芭蕉の栽培及び芭蕉繊維の回収利用事業準備」
- **NPO法人トゥマンハティふくおか**
「職業性ストレス簡易調査票 (57項目) 多言語化」



来季に向けた苗木生産
(一社) ミドリゼーションプロジェクト

学校の教育環境が充実してきました

実施地：ギニアビザウ
総経費：22万円 当助成金：20万円
内容：ソナック中等学校に2台のパソコンと百科事典を寄贈し、図書室とパソコン室の整備をしました。生徒達がよく利用するようになっています。



インドネシア語でストレスチェック ができるようになりました

実施地：福岡市
総経費：17万円 当助成金：15万円
内容：留学生と会のメンバーでミーティングを重ね、「職業性ストレス簡易調査票」の翻訳をしました。事業所で使われるもので、これまで日本語だけでしたが、活用の広がりが期待されます。

職業性ストレスチェック簡易票 (57項目)

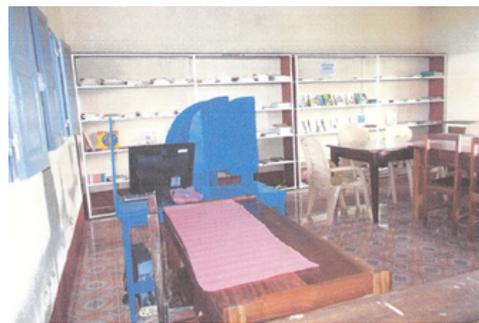
インドネシア語 (インドネシア)

ご自由にダウンロードしてご活用ください。今後の参考のために、シートにご協力いただけるとうれいへん嬉しいです(任意)。

完成したインドネシア語版



寄贈したパソコンと製作した台



整備された図書室



留学生と重ねたミーティング

2020

- ・ **認定NPO法人地球市民の会**
「ミャンマーコーヒーファンづくり
～国際協力をもっと身近に」
- ・ **NPO法人トゥマンハティふくおか**
「マタケン学校/オンライン日本語ボランティア
講座整備」
- ・ **NPO法人バングラディッシュと手をつなぐ会**
「テレワークのための環境整備」
- ・ **NPO法人ISAPH**
「食用昆虫を育てる農地の整備 (withコロナ時代の
遠隔管理体制の導入)」
- ・ **芭蕉繊維研究会**
「ミャンマーにおける糸芭蕉の栽培及び
芭蕉繊維の回収利用事業準備」
- ・ **(一社)モザンビークのいのちをつなぐ会**
「モザンビーク共和国ペンバ地区における
テロ被災者支援活動」



ミャンマーと佐賀をコーヒーで つなぐ仕組みができました

実施地：佐賀市とミャンマー・チン州
 総経費：27万円 当助成金：19万円
 内容：支援地でのコーヒーづくりを応援する「コーヒーアンバサダー」制度を作り、双方をつなぐオンラインイベントやアンバサダーを広げるためにイベント出店などをしました。年度末にはアンバサダー60名となりました。



ミャンマーでの
糸芭蕉生産
(芭蕉繊維研究会)



フェスでコーヒーPR

テロ避難民の家族や子ども達に 食べ物を届けています

実施地：モザンビーク ペンバ
 総経費：33万円 当助成金：16万円
 内容：市内に13万人のテロ避難民が流入、スラム地区で運営している寺子屋で貧困家庭やこども達への食糧支援を行いました。



コーヒーアンバサダーのチラシ



子どもたちへの食糧配布



各家庭への食糧配布

2021

- **NPO法人じゃっど**
「学校を起点としたコロナに負けない
コミュニティ作り」
- **子どもに能楽を勧める会**
「第12回子どもと留学生の能楽発表会」
- **NPO法人バングラディッシュと手をつなぐ会**
「サテライトクリニック再開のための実行
可能性調査」
- **認定NPO法人地球市民の会**
「日緬の若者が共に学び考える持続可能な食
糧生産アクションプラン」
- **NPO法人ISAPH**
「フードモデルを活用したラオス・マラウイ
農村部の栄養問題に関する情報発信力強化」
- **(一社)モザンビークのいのちをつなぐ会**
「モザンビーク共和国スラムの学び舎 寺子
屋における公衆衛生活動」
- **NPO法人トゥマンハティふくおか**
「活動20周年記念誌および特設webサイト
作成」

小学校にコロナ対策の 物品を贈りました

実施地：ラオス ビエンチャン市
総経費：21万円 当助成金：20万円
内容：3つの小学校に抗コロナ対策の
検温・消毒用物品、石鹸、マスクを提
供、1校に図書室の備品や本を提供し
ました。



寄贈した消毒用品と
子どもたちの手洗いの
様子

2022

- **子どもに能楽を勧める会**
「子どもと留学生の能楽発表会と他文化団
体との交流会」
- **(一社)モザンビークのいのちをつなぐ会**
「モザンビーク共和国 カーボデルガド州
テロ避難民施設整備」
- **NPO法人ISAPH**
「食用昆虫養殖の普及拡大を担う指導者育成」
- **認定NPO法人地球市民の会**
「アニメーションを通じて考える「食」と
SDGs」
- **「ともに学ぼう！」～日本の言葉生活文化～**
「組織基盤整備」
- **NPO法人トゥマンハティふくおか**
「働く外国人のためのメンタルヘルスサポート」
- **(一社)福岡デンマーク協会**
「デンマークセミナー及びデンマーク講座」

能を通じた留学生との 交流が進んでいます

実施地：北九州市
総経費：50万円 当助成金：10万円
内容：留学生の能体験講座には22名の参
加がありました。子どもと留学生の能楽
発表会では9名の留学生が発表、書道や
中国舞踊、子どもの合唱なども交え、
200名近い入場者がありました。



留学生の能体験



留学生の発表

▶デンマーク協会の
イベント詳細



2023

・リトルドリーム

「日本の学校体験事業の事前調査と活動基盤整備」

・認定NPO法人地球市民の会

「ミャンマーCSOスタッフ招へい、視察交流」

・(一社)モザンビークのいのちをつなぐ会

「モザンビーク共和国ペンバ寺子屋での子ども配食活動」

・子どもに能楽を勧める会

「子どもと留学生の能楽発表会と留学生との交流会」

・(一社)福岡デンマーク協会

「リアル・オンライン併催により新たな基盤とファンづくり」

・多文化共生サポートつながるたすかるだじょうぶ

「多文化共生サポート活動に関する組織基盤整備」

・フレンズ国際ワークキャンプ九州

「フィリピンの貧困村でのインフラ整備」

・(特活)バングラディッシュと手をつなぐ会

「多文化共生のためのイスラム教徒理解向上」



活動の第一歩を踏み出せました

実施地：福岡市

総経費：10万円 当助成金：10万円

内容：団体紹介のFBページ、広報講座を受講してパンフや名刺作成。モンゴルの生徒招へい準備のため福岡やモンゴルの学校関係者と面談したり、モンゴル紹介のイベントも実施しました。



教材を充実し、学習者に貸し出し
(つながるたすかるだじょうぶ)



モンゴル紹介イベント



イスラム教のことを知る 機会が作ることができました

実施地：福岡市

総経費：10万円 当助成金：10万円

内容：会の活動紹介とシンポジウム、イスラム教についての講演、ハラール食体験、モスク体験ツアーを行いました。のべ266名の参加がありました。



モスク体験ツアーの様子

2024

・子どもに能楽を勧める会

「子どもと留学生の能楽発表会と留学生との交流会Ⅱ」

・NPO法人バングラディッシュと手をつなぐ会

「多文化共生のためのイスラム教徒理解向上」

・NPO法人ISAPH

「案件化調査：ラオス農村部における子どもの栄養改善に関する現状と課題」

・フレンズ国際ワークキャンプ九州

「フィリピンの貧困村でのインフラ整備」

・オイスカ西日本研修センター

「人材育成事業」

・セミナー企画室コスモポリタンズ

「コスモポリタンズセミナー」



助成金で行った調査が 現地での事業につながりました

実施地：ラオス農村部

総経費：163万円 当助成金：20万円

内容：5歳未満児の栄養不良に関する情報収集後、対象地域で調査したところ、正確に情報を得るための測定機材自体にも問題があることがわかりました。今後その改善に取り組む予定です。



コスモポリタンズセミナー
(セミナー企画室コスモポリタンズ)



村での聞き取り調査

これまでの採択団体の声

2014年度からスタートした九州地域NGO活動助成金はこれまでに67の国際支援を行う団体の皆さまに活用していただきました。これまでの利用団体からいただいた声を一部紹介します。

頑張っていてほしいです。
助成金制度を充実して
ほしいです。

基盤強化の研修をしてよかった。
寄付者目線で考えるようになった。
ありがとうございます。

10周年おめでとうございます！
助成金のおかげで、私たちの活動
にも大きな一歩が生まれました。
今後のさらなる発展をお祈り
しております。

この10年間、多くの草の根の活動に希望を
届けてくださり、本当にありがとうございます。
活動の現場にとって、この助成は単なる
資金援助ではなく「伴走してくれる力強い仲間」
でした。これからも活動者たちの声に寄り添う
仕組みとして、ますますのご発展を
応援しています！

助成金そのもののみならず、
多角的なアドバイスをいただき、
活動を続けさせていただいて
おります。
ありがとうございます。

グループを立ち上げたばかりの
タイミングでこの助成金を利用
でき、申請方法やグループとしての
活動内容など基盤としての自信
にもつながりました。
本当に感謝しています。

ミャンマーとお付き合いする
きっかけとなりました。
ありがとうございました。

NGO/NPOに対する継続的なご支援に
感謝いたします。
利用させていただいた助成金は確実に
意味があったことを確信しております。
今後ともよろしく願いいたします。

ボランティアで活動する私どもの
会は、2021年から4ヶ年、連続
して助成いただきました。
この助成のお陰で充実した内容の
事業を行うことができました。
厚くお礼を申し上げます。

助成金そのもののみならず、
多角的なアドバイスをいただき、
活動を続けさせていただいて
おります。ありがとうございます。

グループを立ち上げたばかりの
タイミングでこの助成金を利用
でき、申請方法やグループとしての
活動内容など基盤としての
自信にもつながりました。
本当に感謝しています。

データで振り返る助成金

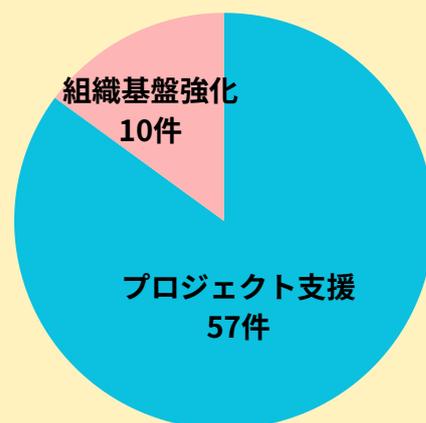
応募団体と採択件数

2014年～2024年の間に
81団体からの応募があり
67団体に
総額**1,548万円**
の助成をしました。



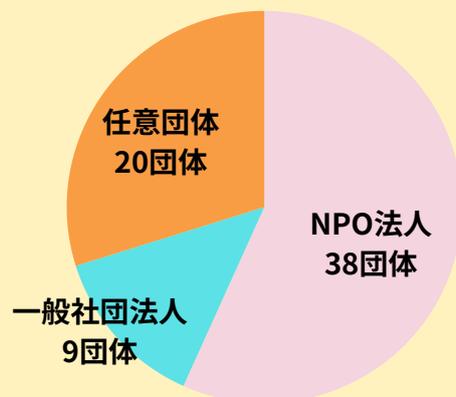
助成対象

2024年までに
57件のプロジェクト支援
10件の組織基盤強化支援
を対象に採択を行いました。



法人形態

これまでの採択団体のうち
半数以上が**NPO法人 (38団体)**
また、次いで法人格を持たない
任意団体 (20団体)
と幅広く活用していただきました



実施地域

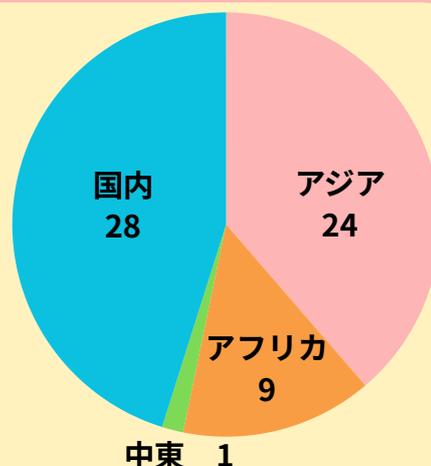
これまでの支援事業のうち

国内事業（28件）が最も多く

次いで**アジア（24件）**、

アフリカ（9件）と続き

世界各地での活動に役立てられています



海外事業の活動分野

農村支援や**保健医療**

教育・子ども支援

緊急人道支援など

多様な分野での活動が助成されています。

ニーズに即した幅広い取り組みが見られました。



国内事業の事業内容

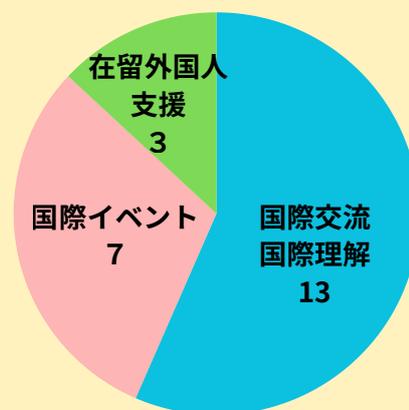
国際交流や**異文化理解**

在留外国人支援

国際イベントの実施

地域に根ざした国際的な取り組みに、

幅広く活用されています。



九州地域NGO活動助成金 これまでのあゆみ

令和7(2025)年9月 発行

編集・発行

特定非営利活動法人NGO福岡ネットワーク

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-6-1小森ビル4A

福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」内

TEL/FAX：092-405-9870

Email：funn@ngofukuoka.net

協力

宗教法人 真如苑社会交流課

その他、これまでの九州地域NGO活動助成金採択団体の皆さまに本冊子作成にあたり
写真提供等ご協力いただきました。ありがとうございました。